

令和4年

三好市教育委員会11月定例会

日 時 令和4年11月24日（木）午後1時30分
場 所 三好市教育委員会 会議室

ふるさと
「郷土を愛し、生涯を通して『学び』を実現する教育の創造」

三 好 市 教 育 委 員 会

令和4年三好市教育委員会11月定例会次第

1 開会

2 報告

3 承認

令和4年三好市教育委員会10月定例会会議録の承認について

4 議案

第24号 2022（令和4）年度12月補正予算案について

5 その他

行 事 一 覧 表

令和4年10月19日 ～ 令和4年11月23日

行 事 名	開催月日	場 所	備 考
第2回管区別教育長会	10/19	つるぎ町就業センター	※
三好市民文化祭(北海道歌旅座コンサート)	10/22	総合体育館	
全国歴史的景観都市協議会全国大会	10/27・28	ホテルまんなか	
庁議	11/4	本庁	
三好市中学校長会要望	〃	教育委員会室	
第4回市民大学講座(映画:いのちの停車場)	11/5	総合体育館	
臨時議会	11/7	本庁	
学校支援ボランティア事業運営協議会	11/8	総合体育館	
県・市町村教育委員会教育委員等研修会	11/10	オンライン	※
三好市PTA協議会要望	11/11	教育委員会室	
池田高校100周年記念式典	11/13	池田高校体育館	※
三好郡市小学校長会要望	11/14	教育委員会室	
三好教霊祠祭	11/16	東みよし町(出雲神社)	
第3回管区別教育長会・校長会	11/22	つるぎ町就業センター	※
三好市教職員組合要望	〃	教育委員会室	

【行事予定】

第17回三好市社会福祉大会	11/25(金)	13:00	総合体育館
議会(開会)	12/1(木)	10:00	本庁
第2回教育支援委員会	12/2(金)	13:30	中央公民館
庁議	12/2(金)	15:00	本庁
園長・小中校長会	12/7(水)	15:30	三好教育センター
議会(一般質問・議案質疑)	12/8(木)・9・12	10:00	本庁
議会(文教厚生委員会)	12/14(水)	10:00	〃
議会(委員長報告・散会)	12/21(水)	10:00	〃
総合教育会議	12/22(木)	13:30	教育委員会室
定例教育委員会	〃	15:30	〃

報 告

臨時代理の報告について

三好市教育委員会事務委任規則第3条の規定により別紙のとおり臨時に代理をしたので、第4条の規定により報告する。

令和4年11月24日提出

三好市教育委員会
教育長 竹内 明裕

教育委員会の議決事項の臨時代理について

三好市教育委員会事務委任規則第3条の規定により緊急やむを得ない事情により委員会の議決を受けることができないと認めるので、次のとおり臨時に代理する。

三好市教育委員会
教育長 竹内 明裕

令和4年10月17日臨時代理

三好市立学校給食運営委員会の委員の委嘱または任命 別紙1のとおり

令和4年11月4日臨時代理

三好市奨学生選考委員会の委員の委嘱または任命 別紙2のとおり

令和4年度 三好市立学校給食運営委員会名簿

	所属	役職	氏名
1	関係学校長代表（三野）	三野中学校長	川原 克仁
2	関係学校長代表（井川）	井川中学校長	田所 啓
3	関係学校長代表（池田）	箸蔵小学校長	伊丹 文昭
4	関係学校長代表（山城）	下名小学校長	武井 和夫
5	関係学校長代表（西祖谷）	西祖谷中学校長（学校給食部担当）	熊澤 浩己
6	関係学校長代表（東祖谷）	東祖谷小中学校長	辺見 俊二
7	関係学校PTA代表	三好市PTA協議会会長（三野中）	大浦 武司
8	関係学校PTA代表	三好市PTA協議会副会長（下名小）	栗下 聡司
9	関係学校PTA代表	三好市PTA協議会副会長（井川中）	倉本 博文
10	市議会議員	文教厚生常任委員会委員長	三木 和弘
11	市議会議員	文教厚生常任委員会副委員長	徳川 一広
12	保健所長	三好保健所長	大木元 繁
13	学校薬剤師代表	松浦薬局	松浦 久恵
14	その他教育委員会が認めるもの	北条病院長	北条 文彦
15	その他教育委員会が認めるもの	教育委員	石井 一次
16	その他教育委員会が認めるもの	馬路小学校教頭（食育部担当）	喜多 勝美
17	その他教育委員会が認めるもの	幼稚園職員	新居 利枝

事務局

1	三好市教育委員会	教育次長	土井 啓治
2	学校教育課	学校教育課長兼所長	岡田 由紀
3	三好市学校給食センター	栄養教諭（箸蔵小学校）	松田 由利子
4	三好市学校給食センター	栄養教諭（箸蔵小学校）	木村 早亜
5	下名学校給食共同調理場	栄養教諭（下名小学校）	谷藤 美紀
6	東祖谷学校給食共同調理場	栄養教諭（東祖谷小学校）	垂水 美月
7	学校教育課（三好市学校給食センター）	給食担当	大和 美和

○三好市立学校給食センター及び調理場設置条例

平成18年3月1日

条例第92号

改正 平成24年3月29日 条例第9号

平成27年12月24日 条例第31号

令和3年3月23日 条例第6号

令和4年6月22日 条例第24号

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、三好市立学校給食センター及び調理場(以下「給食施設」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 給食施設の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
三好市学校給食センター	三好市池田町州津滝端1271番地1
下名学校給食共同調理場	三好市山城町下名1001番地1
東祖谷学校給食共同調理場	三好市東祖谷下瀬12番地1

(管理運営)

第3条 給食施設は、三好市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理運営する。

(職員)

第4条 給食施設には、所長、場長及びその他必要な職員を置く。

(事業)

第5条 給食施設は、学校給食法(昭和29年法律第160号)第2条に掲げる目的を達成するため、三好市立小学校及び中学校の学校給食用物資の調達、調理、輸送その他必要な事業を行う。

2 給食施設は、三好市立幼稚園についても、前項の規定に準じて給食事業を行う。

(運営委員会)

第6条 給食施設には、その運営を適正かつ円滑に実施するため、三好市立学校給食運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会は、給食施設の運営に関する重要な事項について審議する。

3 運営委員会の委員は、教育委員会において委嘱する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、給食施設の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成18年3月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日条例第9号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成27年12月24日条例第31号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月23日条例第6号)抄

(施行期日等)

1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和4年6月22日条例第24号)

この条例は、公布の日から施行する。

○三好市立学校給食センター及び調理場設置条例施行規則

平成18年3月1日

教育委員会規則第16号

改正 平成21年1月30日教委規則第2号

平成22年3月26日教委規則第7号

平成26年1月27日教委規則第2号

平成27年12月24日教委規則第5号

平成28年9月1日教委規則第14号

平成30年3月30日教委規則第10号

令和3年3月25日教委規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、三好市立学校給食センター及び調理場設置条例(平成18年三好市条例第92号。以下「条例」という。)第7条の規定に基づき、条例の施行に関する必要な事項を定めるものとする。

(職員)

第2条 条例第4条に規定するその他必要な職員は、事務職員、給食調理員及び自動車運転手とする。

(任命)

第3条 職員の任命は、三好市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が行う。

(職務)

第4条 給食センター及び調理場(以下「給食施設」という。)の所長、場長及び職員は、教育委員会の方針に従い、学校給食の健全な発達と合理的な運営に努めなければならない。

2 所長及び場長は、給食施設に属する業務をつかさどり、所属職員を監督する。

3 職員は、上司の命を受け、業務に従事する。

(業務)

第5条 給食施設の業務は、次のとおりとする。

- (1) 物資の購入に関すること。
- (2) 施設、設備及び労務の管理に関すること。
- (3) 経理その他一般事務に関すること。

- (4) 献立及び調理に関すること。
- (5) 輸送に関すること。
- (6) 学校給食費に関すること。
- (7) 衛生、管理及び栄養の調査研究に関すること。
- (8) その他学校給食に関し必要な事項

(運営委員会の構成)

第6条 条例第6条の運営委員会の委員は、次に掲げるもののうちから委嘱する。

- (1) 関係学校長代表
- (2) 関係学校PTA代表
- (3) 市議会議員代表
- (4) 三好保健所長
- (5) 校医代表
- (6) 学校薬剤師代表
- (7) その他教育委員会が必要と認めるもの

(運営委員会の委員)

第7条 運営委員会の委員の定数は、20人以内とし、その任期は、委嘱された日から当該年度の3月31日までとする。ただし、再任を妨げない。

(その他)

第8条 給食施設の事務処理については、三好市職員服務規程(平成18年三好市訓令第23号)等市長部局の規程を準用するほか、給食施設の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成18年3月1日から施行する。

附 則(平成21年1月30日教委規則第2号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月26日教委規則第7号)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成26年1月27日教委規則第2号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年12月24日教委規則第5号)

この規則は、平成28年4月1日より施行する。

附 則(平成28年9月1日教委規則第14号)

この規則は、平成28年9月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日教委規則第10号)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月25日教委規則第2号)

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

三好市奨学生選考委員会委員等名簿

令和4年度		(敬称略)		
番号	区分	役職名	氏名	備考
1	市議会議員	三好市議会 文教厚生委員長	三木 和弘	
2	市議会議員	三好市議会 文教厚生副委員長	徳川 一広	
3	三好市教育委員会	三好市教育長	竹内 明裕	
4	教育委員	三好市教育長職務代理者	喜多 雅文	
5	教育委員	三好市教育委員	深田 晃司	
6	教育委員	三好市教育委員	大北 慶子	
7	教育委員	三好市教育委員	石井 一次	
8	教育委員	三好市教育委員	竹内 大介	
9	市立中学校長	三好市中学校校長会 会長	川原 克仁	
10	市立中学校長	三好市中学校校長会 副会長	田所 啓	
11	学識経験者	徳島県立池田高等学校長	臼井 公仁	
12	学識経験者	徳島県立池田支援学校長	喜馬 久典	
－	事務局	教育次長	土井 啓治	
－	事務局	学校教育課長	岡田 由紀	
－	事務局	学校教育課	大西 瑛輝	

○三好市奨学金条例

平成18年3月1日

条例第95号

改正 平成27年3月30日 条例第3号

平成28年6月23日 条例第25号

(目的)

第1条 この条例は、経済的理由により修学が困難な者に対して奨学金を貸与することにより、修学の機会を確保し、もって人材を育成することを目的とする。

(貸与を受けることができる者)

第2条 奨学金の貸与を受けることができる者は、次の要件を備える者とする。

- (1) 市内に住所を有する父又は母の子であること。ただし、父及び母が共にいない者については、その者が市内に住所を有すること。
- (2) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、高等専門学校、大学、短期大学又は専門学校(以下「学校」という。)に在学する者であること。
- (3) 経済的理由により修学が困難と認められる者であること。

(貸与の申請及び決定)

第3条 奨学金の貸与を受けようとする者は、規則で定めるところにより、市長に申請しなければならない。

- 2 市長は、前項の規定による申請があったときは、三好市奨学生選考委員会の選考を経た者に貸与の決定を行うものとする。

(額、貸与期間)

第4条 奨学金の額は、規則で定める。

- 2 奨学金の貸与期間は、在学する学校の正規の最短修業年限が終了するまでとする。
- 3 奨学金は、無利子とする。

(貸与の休止)

第5条 市長は、第3条第2項の規定による貸与の決定を受けた者(以下「奨学生」という。)が休学し、又は停学の処分を受けたときは、当該休学し、又は停学の処分を受けた日の属する月の翌月から復学した日の属する月の分まで奨学金の貸与を行わないものとする。この場合において、これらの月の分として既に貸与された奨学金があるときは、その奨学金は、当該復学した

日の属する月の翌月以降の分として貸与されたものとみなす。

(貸与決定の取消し)

第6条 市長は、奨学生が次の各号のいずれかに該当するときは、奨学金の貸与の決定を取り消すものとする。

- (1) 第2条第2号又は第3号に掲げる要件のいずれかを欠くに至ったとき。
- (2) 奨学金の貸与を受けることを辞退したとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、奨学金の貸与を受けることが適当でないと認められるとき。

(返還)

第7条 奨学金の貸与を受けた者は、次に掲げる事由が生じた場合には、その事由が生じた日の属する月の翌月から起算して1年を経過した後、10年を超えない範囲において規則で定める期間(次条の規定により奨学金の返還を猶予されたときは、当該規則で定める期間と当該猶予された期間とを合算した期間)内に、規則で定めるところにより、奨学金を返還しなければならない。ただし、いつでも繰上げ返還をすることができる。

- (1) 貸与期間が満了したとき。
- (2) 前条の規定により奨学金の貸与の決定が取り消されたとき。

(返還の猶予)

第8条 市長は、奨学金の貸与を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、奨学金の全部又は一部の返還を猶予することができる。

- (1) 災害、盗難、疾病、負傷、失業その他やむを得ない理由により、奨学金を返還すべき日までにこれを返還することが著しく困難であると認められるとき。
- (2) 修学していることにより、奨学金を返還することが困難であると認められるとき。

(返還の免除)

第9条 市長は、奨学金の貸与を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、三好市奨学生選考委員会の審査を経て、奨学金の全部又は一部の返還を免除することができる。

- (1) 死亡したとき。
- (2) 身体又は精神の障害により労働能力を喪失したとき。
- (3) 奨学生であった者で、三好市内に住所を有し、生計を営み1年以上継続して居住している者。
- (4) その他特別の事由が認められるとき。

- 2 市長は、前項の規定により返還を免除された者であっても、その事由がなくなつたと認められるときは、返還を命ずることができる。

(延滞利息)

第10条 奨学金の貸与を受けた者は、正当な理由がなく奨学金を返還すべき日までにこれを返還しなかったときは、当該返還すべき日の翌日から返還の日までの日数に応じ、返還すべき額につき年3パーセントの割合で計算した延滞利息を支払わなければならない。

(選考委員会)

第11条 奨学金の貸与の決定に関する基準を定め、並びに奨学金の貸与及び奨学金の返還の免除について審査するため、三好市奨学生選考委員会(以下「選考委員会」という。)を置く。

- 2 選考委員会は、委員15人以内で組織する。

- 3 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が任命し、又は委嘱する。

- (1) 市議会議員

- (2) 教育長

- (3) 教育委員

- (4) 市立中学校長

- (5) 学識経験者

- 4 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成18年3月1日から施行し、平成18年度に貸与する奨学金から適用する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の山城町奨学金条例(昭和50年山城町条例第34号)、山城町育英奨学金貸与条例(昭和51年山城町条例第24号)、三野町へき地出身者奨学金貸与条例(昭和50年三野町条例第21号)、井川町なでしこ奨学金条例(平成14年井川町条例第22号)、東祖谷山村学資金貸付条例(昭和38年東祖谷山村条例第4号)又は西祖谷山村修学奨励金貸与条例(昭和51年西祖谷山村条例第18号)(以下これらを「合併前の条例等」という。)の規定により決

定された資金の貸与及びその償還等については、なお合併前の条例等の例による。

附 則(平成27年3月30日条例第3号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年6月23日条例第25号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成28年7月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

(返還の免除の適用)

- 2 改正後の三好市奨学金条例第9条第1項第3号の規定は、施行日以後の申請から適用する。

(遅延利息の適用)

- 3 改正後の三好市奨学金条例第10条の規定は、施行日以後の遅延利息に適用する。

○三好市奨学金貸与規則

令和2年8月25日

規則第42号

(趣旨)

第1条 この規則は、三好市奨学金条例(平成18年三好市条例第95号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(貸与の申請手続)

第2条 奨学金の貸与を受けようとする者は、市長が定める日までに、奨学金貸与申請書(様式第1号)に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 条例第2条第2号の要件を備えることを証明する書類
- (2) 出身学校長の奨学生推薦書(様式第2号及び様式第2—2号)
- (3) 連帯保証人と連署した誓約書(様式第3号)

2 前項第3号の連帯保証人は、成年者で独立の生計を営む者でなければならない。

(貸与の額)

第3条 条例第4条第1項に規定する奨学金の額は、別表に定めるとおりとする。

(交付の方法)

第4条 奨学金は、2箇月分以上を合わせて市長が別に定める時期に交付するものとする。

(奨学生の氏名等の変更等の届出)

第5条 奨学生は、次の各号のいずれかに該当するに至ったときは、直ちに市長に届け出なければならない。

- (1) 本人又は連帯保証人の氏名又は住所の変更があったとき。
- (2) 休学し、退学し、又は停学の処分を受けたとき。
- (3) 転学し、又は転籍したとき。
- (4) 連帯保証人が死亡し、又は連帯保証人に連帯保証人として適当でない事由が生じたとき。

2 前項第1号の規定による届出は氏名等変更届(様式第4号)により、同項第2号の規定による届出は休学(退学・停学)届(様式第5号)により、同項第3号の規定による届出は転学(転籍)届(様式第6号)により、同項第4号による届出は連帯保証人変更届(様式第7号)により行うものとする。

3 連帯保証人は、奨学生が死亡したときは、速やかに奨学生等死亡届(様式第8号)を市長に提出しなければならない。

(貸与の再開の申請)

第6条 条例第5条の規定により奨学金の貸与を休止された奨学生は、復学した後再び奨学金の貸与を受けようとするときは、奨学金再開申請書(様式第9号)にその事実を証明することができる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(貸与の辞退)

第7条 奨学生は、奨学金の貸与を受けることを辞退しようとするときは、奨学金辞退届(様式第10号)を市長に提出しなければならない。

(奨学金借用証書)

第8条 奨学金の貸与を受けた者は、奨学生が学校を卒業した日又は奨学金の貸与の決定を取り消された日以後市長が定める日までに、連帯保証人及び保証人と連署した奨学金借用証書(様式第11号)を市長に提出しなければならない。

2 前項の連帯保証人及び保証人は、成年者で独立した生計を営む者でなければならない。

(奨学金の貸与を受けた者の氏名等の変更等の届出)

第9条 奨学金の貸与を受けた者は、次の各号のいずれかに該当するに至ったときは、直ちに市長に届け出なければならない。

(1) 本人、連帯保証人の氏名又は住所の変更があったとき。

(2) 連帯保証人が死亡し、又は連帯保証人に破産の宣告その他連帯保証として適当でない事由が生じたとき。

2 前項第1号の規定による届出は氏名等変更届により、同項第2号の規定による届出は連帯保証人変更届により行うものとする。

3 連帯保証人は、奨学金の貸与を受けた者が死亡したときは、速やかに奨学生等死亡届を市長に提出しなければならない。

(返還の期間等)

第10条 条例第7条の規則で定める期間は、10年以内とする。

2 奨学金の返還は、月賦、半年賦、年賦のいずれかの方法により、均等返還とする。

(返還の猶予の申請)

第11条 条例第8条の規定による奨学金の返還の猶予を受けようとする者は、奨学金返還猶予申請書(様式第12号)にその理由を証明することができる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(返還の免除の申請)

第12条 条例第9条の規定による奨学金の返還の免除を受けようとする者は、奨学金返還免除申請書(様式第13号)にその理由を証明することができる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(返還の免除の額)

第13条 条例第9条第1項第3号の規定により返還を免除することとなる額は、1会計年度当たり、貸与総額の10パーセントの割合で計算した額とする。ただし、平成29年3月31日までに奨学金の返還を開始した者の免除額は、1会計年度当たり、三好市内に住所を有し5年以上継続して居住した場合においては貸与総額の5パーセントの割合で計算した額を、三好市内に住所を有し10年以上継続して居住した場合においては貸与総額の10パーセントの割合で計算した額とする。

(返還の免除の要件)

第14条 条例第9条第1項第3号に規定する奨学金の返還の免除を受けようとする者は、免除の申請をした日に返還すべき奨学金の滞納がないこととする。

(選考委員会)

第15条 三好市奨学生選考委員会に関する必要な事項は、三好市奨学生選考委員会会議規則(令和2年三好市規則第43号)に定めるものとする。

(その他)

第16条 この規則の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、令和2年9月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の山城町奨学金条例施行規則(昭和51年山城町教育委員会規則第1号)、山城町育英奨学金貸与条例施行規則(昭和52年山城町教育委員会規則第2号)、井川町なでしこ奨学金条例施行規則(平成14年井川町規則第29号)、東祖谷山村学資金貸付規則(昭和37年東祖谷山村規則第1号)、西祖谷山村修学奨励金貸与条例施行規則(昭和51年西祖谷山村規則第22号)又は三好市奨学金貸与規則(平成18年三好市教育委員会規則第19号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則

によりなされたものとみなし、施行日以後に行う当該奨学金に係る手続その他の行為は、この規則の規定により行うものとする。

別表(第3条関係)

在学する学校の区分	奨学金の額(月額)
高等学校	6,000円、12,000円又は24,000円のうち貸与を受けるものが選択する額
高等専門学校	10,000円、21,000円又は30,000円のうち貸与を受けるものが選択する額
大学・短期大学・専門学校	22,000円、44,000円又は64,000円のうち貸与を受けるものが選択する額

様式第1号(第2条関係)

奨 学 金 貸 与 申 請 書												
ふ り が な 申請者氏名						生年月日		年 月 日生		性別	男・女	
申請者個人番号												
申請者住所												
家族の住所												
家 族 の 状 況	氏 名	個人番号		続柄	年齢	職 業	勤 務 先					
世帯の経済状況及び奨学金希望理由												
出 身 校												
在籍及び進学希望校												
修業予定又は残年数		年制（在学されている場合は左のうち残年数 年）										
奨 学 金 振込口座	金融機関名	銀行 農協						支店 支所		種別	普通	
	口座番号							カタカナ				
								名 義				
希望する奨学金貸与額 (月額)												
<p>三好市奨学金条例の規定による奨学金の貸与を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">申請者氏名</p> <p>三好市長 様</p>												

印

様式第2号(第2条関係)

奨学生推薦書

記入責任者



1 学習の記録

学 年 \ 教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健 体育	技術 家庭	選 択 外国語	備 考
第1学年										
第2学年										
第3学年										
〔学習所見〕										

2 行動及び性格記録

評 定	基本的な生活習慣		根 気 強 さ		公 正 さ		自 主 性	
	自 省 心		公 共 性		責 任 感		向 上 心	
	協 調 性		積 極 性					
事 実 記 録					所 見			

3 推 薦 所 見〔人物、学力、父母等の教育的関心、家計学資の状況等につき特記すべき事項につき記載〕

在籍出身校

中学校 卒業見込 氏 名
卒 業

男・女

上記の者は、人物優れ、学習意欲にとみ、健康であつて、学資の支弁が困難でありますので、三好市奨学金条例の規定に基づく奨学生として適当と認め推薦します。

年 月 日

学 校 長



三好市長 様

様式第 2—2 号(第 2 条関係)

記入に不備がある場合は、判定資料を欠くものとして選考から除外されます。

奨 学 生 推 薦 書																														
記入責任者																		印												
高等学校における学習の記録〔各教科とも評定別に履修科目数を記入すること。〕																														
学 年		第1学年					第2学年					第3学年					第4学年													
教 科	科目別評定	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1									
	国 語																													
	社 会																													
	数 学																													
	理 科																													
	保健体育																													
	芸 術																													
	外 国 語																													
	家 庭																													
	職 業																													
評定別科目数																														
履修単位数																														
評 定 の 平 均 値	選択科目数											評定値																		
	5×〔 〕＝〔 〕																													
	4×〔 〕＝〔 〕																													
	3×〔 〕＝〔 〕																													
	2×〔 〕＝〔 〕																													
	1×〔 〕＝〔 〕																													
	計〔 〕＝〔 〕																													
A											B																			
											$\frac{B}{A}$									評定平均値										
																						卒業時の席次〔学年〕								
																						人 中 位								
学 習 所 見																														
※ 在 籍 出 身 校											※卒業見込 高等学校 卒 業											氏 名								
																				※男・女										

行 動 及 び 性 格 の 記 録	評 定	基 本 的 生 活 習 慣		根 気 強 さ		公 正 さ		情 緒 の 安 定		同 情 心	
		自 主 性		自 省 心		指 導 性		積 極 性		趣 味 ・ 特 技	
		責 任 感		向 上 心		協 調 性		公 共 心			
	事 実 の 記 録					所 見					
										人 物 総 合 判 定 A B C	
推 薦 所 見	〔人物・学力・保護者の教育的関心・家計・学資の状態等について、特記すべきことを具体的に記入すること。〕										
上記の者は、特に人物、学業ともに優秀かつ健康であって、著しく学資の支弁が困難でありますので、三好市奨学金条例の規定に基づく奨学生として適当と認め、推薦いたします。											
<div style="text-align: center;"> 年 月 日 三好市長 様 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> 学校長〔氏名〕 印 </div>											

様式第 3 号(第 2 条関係)

誓 約 書

三好市奨学金条例の規定に基づき奨学生として決定された場合は、この条例及びこの条例に基づく規則その他の規定を固く守り、学業に精励することを誓約し、奨学金の返還についても、関係規定に従い誠実に返還の義務を履行することを誓います。

借用証書を提出できないときは、三好市が指定した期日までに全額を一括返還いたします。償還金の支払いを 2 回以上怠った場合は、全額を一括返還します。

また、本人において返還できないときは、連帯保証人において返還いたします。

年 月 日

在籍学校名 _____

本 人 住 所
氏 名

㊟

連帯保証人住所
氏 名

㊟

生 年 月 日 年 月 日生

本人との続柄 ()

職 業 ()

連帯保証人住所
氏 名

㊟

生 年 月 日 年 月 日生

本人との続柄 ()

職 業 ()

三好市長 様

様式第4号(第5条、第9条関係)

氏名等変更届

年 月 日

三好市長 様

届出者住所
氏名



次のとおり変更がありましたので、三好市奨学金貸与規則第5条第1項第1号(第9条第1項第1号)の規定により届け出ます。

区 分		変 更 前	変 更 後
奨 学 生 (奨学金の 貸与を受け た者)	氏 名		
	住 所		
連 帯 保 証 人 (保証人)	氏 名		
	住 所		

様式第 5 号(第 5 条関係)

休学(退学・停学)届

年 月 日

三好市長 様

届出者住所

氏名



次のとおり休学(退学・停学)しましたので、三好市奨学金貸与規則第5条第1項第2号の規定により届け出ます。

在学中の学校名	
届 出 の 内 容	休学 ・ 停学 ・ 退学
期 間	年 月 日から 年 月 日まで
特 記 事 項	

※ 「届出の内容」欄は、該当する事項を○で囲むこと。

※ 退学の場合は、「特記事項」欄に退学年月日を記入すること。

様式第 6 号(第 5 条関係)

転学(転籍)届

年 月 日

三好市長 様

届出者住所

氏名



次のとおり転学(転籍)しましたので、三好市奨学金貸与規則第5条第1項第3号の規定により届け出ます。

転学(転籍)前の学校名	
転学(転籍)後の学校名	
転 学 (転 籍) の 日	年 月 日 転学(転籍)
転 学 (転 籍) 後 の 卒 業 予 定 日	年 月 日 卒業予定
特 記 事 項	

※ 在学証明書を添付すること。

様式第 7 号(第 5 条、第 9 条関係)

連帯保証人変更届

年 月 日

三好市長 様

届出者住所
氏名



次のとおり変更がありましたので、三好市奨学金貸与規則第5条第1項第4号(第9条第1項第2号)の規定により届け出ます。

事 項		変 更 前	変 更 後
連帯保証人	氏 名		
	住 所		
連帯保証人	氏 名		
	住 所		

上記のとおり相違ありません。

新連帯保証人氏名

〃



様式第 8 号(第 5 条、第 9 条関係)

奨学生等死亡届

年 月 日

三好市長 様

届出者住所
氏名



次のとおり奨学生(奨学金の貸与を受けた者)が死亡しましたので、三好市奨学金貸与規則第5条第3項(第9条第3項)の規定により届け出ます。

在学中の学校又は出身学校	
死亡した奨学生等の氏名	
死 亡 年 月 日	年 月 日
特 記 事 項	

様式第 9 号(第 6 条関係)

奨学金再開申請書

年 月 日

三好市長 様

届出者住所
氏名



次のとおり復学し、再び奨学金の貸与を受けたいので、三好市奨学金貸与規則第6条の規定により届け出ます。

在 学 中 の 学 校	
復 学 の 年 月 日	年 月 日復学
休学の期間又は停学の期間	年 月 日から 年 月 日まで
休 学 又 は 停 学 の 理 由	

※ 復学を明らかにする在学中の学校長の証明書を添付すること。

様式第 10 号(第 7 条関係)

奨学金辞退届

年 月 日

三好市長 様

届出者住所
氏名



次のとおり復学し、再び奨学金の貸与を辞退したいので、三好市奨学金貸与規則第7条の規定により届け出ます。

在 学 中 の 学 校	
辞 退 の 年 月 日	年 月 日
辞 退 の 理 由	



奨学金借用証書

	百万	十万	万	千	百	十	円
借用金額							

三好市奨学金条例の規定に基づき、上記の金額を借用しました。

つきましては、関係諸規定を守り、滞りなく返還いたします。

万一、奨学金の返還を怠った場合には、延滞利息を課せられるとともに、履行期限の繰上げのほか、強制執行の手続をとられても異議ありません。

なお、訴訟の必要が生じたときは、徳島池田簡易裁判所を合意管轄裁判所とすることとします。

また、本人において返還できないときは、連帯保証人において返還いたします。

年 月 日

本人住所

氏名



連帯保証人住所

氏名



連帯保証人住所

氏名



三好市長 様

※ 連帯保証人については、必ず印鑑証明書を添付すること。

奨学金返還猶予申請書

年 月 日

三好市長 様

届出者住所
氏名



三好市奨学金条例の規定による奨学金の返還の猶予を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

在学中の学校又は出身学校	
奨 学 金 の 貸 与 を 受 け た 者 の 氏 名	
借 用 金 額	金 円
返 還 猶 予 期 限	年 月 日まで
理 由	

※ 返還の猶予の理由を証明することができる書類を添付すること。

奨学金返還免除申請書

年 月 日

三好市長 様

届出者住所
氏名



三好市奨学金条例の規定による奨学金の返還の免除を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

在学中の学校又は出身学校	
奨学金の貸与を受けた者の 氏名	
奨学金の貸与を受けた者の 個人番号	
借 用 金 額	金 円
返 還 免 除 額	金 円
理 由	

○三好市奨学生選考委員会会議規則

令和2年8月25日

規則第43号

改正 令和3年1月20日規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、三好市奨学金条例(平成18年三好市条例第95号)に基づく奨学金貸与者を選考するため設置する三好市奨学生選考委員会(以下「委員会」という。)の会議及び議事の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員長及び副委員長の選挙)

第2条 委員会の委員長及び副委員長は、会議において委員の互選により選任する。

- 2 委員会は、前項の委員長及び副委員長の選任について委員中に異議がないときは、指名推薦の方法を用いることができる。
- 3 委員長の選挙を行う場合において、委員長の職務を行う者がいないときは、年長の委員が臨時にその職務を行う。

(職務)

第3条 委員長は、委員会を主宰し、会議の議長となり、付託された奨学金貸与者を選考し答申するものとする。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたとき、その代理をするものとする。
- 3 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期とし、再選されることができる。

(会議)

第4条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長がこれを招集し、定例会と臨時会とする。定例会は年1回とし3月に、臨時会は必要に応じ開催する。

- 2 委員会は、委員長及び在任委員の半数以上が出席しなければ、会議を開き議決することができない。
- 3 委員会の議事(以下「議事」という。)は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 前項の場合においては、委員長は、委員としての議決に加わることはできない。
- 5 第1項の規定にかかわらず、委員長が会議を招集する時間的余裕がない場合その他やむを得な

い理由のある場合は、議事の概要を記載した書面を委員に送付し、賛否を問い、会議に代えることができる。

- 6 第2項及び第3項の規定は、前項の場合について準用する。この場合において、第2項及び第3項中「出席」とあるのは「署名」と読み替えるものとする。

(服務)

第5条 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後もまた同様とする。

(その他)

第6条 この規則に定めるもののほか、委員会の会議及び議事に関し必要な事項は、委員会が会議に諮って定める。

附 則

この規則は、令和2年9月1日から施行する。

附 則(令和3年1月20日規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

議案第 24 号

2022（令和4）年度12月補正予算案について

2022（令和4）年三好市議会12月定例会議に提出される2022（令和4）年度教育委員会関係部局の補正予算について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により意見を求める。

令和4年11月24日提出

三好市教育委員会
教育長 竹内 明裕

1 補正予算内容
（省 略）